

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



第82回ティアラこうとう定期演奏会

2021年東京国際指揮者コンクール覇者
ブラジル出身の若き俊才が登場！

指揮：ジョゼ・ソアレス
José Soares, Conductor

ピアノ：壺阪 健登
Kento Tsubosaka, Piano

日本・ブラジル友好交流年

(日・ブラジル外交関係樹立130周年)

グアルニエリ

3つの舞曲

C. Guarnieri: 3 Dances for Orchestra

ガーシュウィン*

ラプソディ・イン・ブルー

G. Gershwin: Rhapsody in Blue

外山雄三

管弦楽のための ラプソディ

Y. Toyama: Rhapsody for Orchestra

ドヴォルザーク

交響曲第9番 ホ短調 作品95 「新世界より」

A. Dvořák: Symphony No. 9 in E minor, Op. 95, B. 178,

"From the New World"

2025

5/10 (土) 15:00開演(14:15開場)

ティアラこうとう (江東公会堂) 大ホール

チケット料金(全席指定・消費税込)

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 B席 ¥3,500

割引チケット

U20 (小学生~20歳・座席指定不可) ¥1,000 U30 (21歳~30歳・座席指定不可) ¥2,000

江東区民割引 (S席~B席) 各¥200割引 ※ハンディキャップ割引もご用意しておりますので、ご希望のお客様はお問い合わせください。

チケットのお申込み

東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002 (月・水・金11:00~16:00 ※祝日は除く) オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>

主催：一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

共催：公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう

東京シティ・フィルは、1994年から東京シティ・バレエ団と共に東京都江東区と芸術提携を結び、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の協力を得て活動を行っています。
「音楽の輪を広げよう!」東京シティ・フィルは地域のみなさんと一緒に活動します。



ブラジルと日本の若きアーティストたち アメリカプロで躍動！

2021年東京国際指揮者コンクールの覇者、ブラジル出身のジョゼ・ソアーレスとの初共演が実現する。同コンクールは高関健が審査員を務めており、直接その実力に触れたことで今回の客演に繋がったとのこと。瑞々しい演奏への期待はもちろん、2025年は日本・ブラジル外交関係樹立130周年ということで、その意味でも注目の出会いとなる。

プログラムもユニーク。まず、20世紀ブラジルのガアルニエリの色彩豊かな「3つの舞曲」と、日本の外山雄三「管弦楽のためのラブソディ」を配置させて、両国の空気に触れる。後者は惜しくも2023年に亡くなった名匠の人気作。複数の日本民謡が次々に現れる3部構成

で、最後の「八木節」は、ソアーレスのリズム感がどんな興奮を生み出すのかも楽しみだ。

続いて北米に移り、ガーシュウィン「ラブソディ・イン・ブルー」を。ピアノ・ソロは、こちらも初登場の壺阪健登。若くしてジャズのフィールドの最前線で活躍、かの小曾根真にも認められた存在で、彼の奏でるガーシュウィンは予測不能の鮮烈なものになりそう。

そして最後はドヴォルザーク「新世界より」。チェコの巨匠が新天地アメリカで生み出した名曲を、ブラジルの俊英がどう聴かせるか。清新な「新世界」に期待が膨らむ。

林 昌英(音楽ライター)



© Daniela Paciello

ジョゼ・ソアーレス 指揮

José Soares, Conductor

ブラジル・サンパウロ出身。クラウディオ・クルス氏に指揮を師事。2017年、ブラジルのカンボス・ド・ジョルダン冬季国際音楽祭で指揮賞を受賞。2018年、サンパウロ交響楽団の客演アシスタント・コンダクターとして招かれ、マリン・オルソップ氏の招待で同団のマチネ公演を指揮。2019年、エストニアのパルヌ音楽祭にてバーヴォ・ヤルヴィ、レオニード・グリーンとの各氏に薫陶を受ける。2021年、ブラジルのクラシック音楽専門誌『Concerto』から「若手タレント」賞を受賞。同じく2021年、23歳で第19回東京国際音楽コンクール(指揮)にて第1位、及び聴衆賞を受賞。副賞として、ハンガリーのブダペスト交響楽団を指揮。2022年には、受賞記念コンサートでNHK交響楽団を指揮し、日本デビューを果たした。2023年にはサンパウロ交響楽団、ボルト・アレグレ交響楽団、日本では新日本フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。現在はブラジルのミナス・ジェライス・フィルハーモニー管弦楽団のアソシエイト・コンダクターを務める期待の新鋭。



© Sakiko Nomura

壺阪 健登 ピアノ

Kento Tsubosaka, Piano

1994年神奈川県横浜市出身。慶應義塾大学を経てバークリー音楽院を首席で卒業。演奏家としてのみならず、作曲、編曲家としても多くのアーティストとのコラボレーションを重ねる。2022年より小曾根真が主宰するプロジェクト「From OZONE till Dawn」に参加。2024年にソロ・ピアニストとしてのデビュー・アルバム「When I Sing」をユニバーサル・ミュージック(UV)よりリリース。2024年5月「ラブソディ・イン・ブルー」を東京フィルハーモニー交響楽団との初共演やリサイタルなどでピアニストとして本格始動。海外でも2023年7月にはスペインのサン・セバスティアン国際ジャズフェスティバルに、また、2025年1月にはフランスのナントにて開催されたラ・フォル・ジュルネに招待されるなど活躍の場を広げる。石川紅奈とのユニット「soraya」ではFUJI ROCK FESTIVAL '24に出演。現在、トランペットの松井秀太郎とタッグを組んだツアーでは新世代ジャズを体現するアーティストとして注目を集め、ジャンルを超えた逸材として期待されている。 <https://www.kentotsubosaka.com/>

チケットのお申込み

東京シティ・フィル チケットサービス

03-5624-4002

(月・水・金11:00~16:00 ※祝日を除く)

オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>



チケット発売日

会員先行発売 2025年1月27日(月)

一般発売 2025年2月10日(月)

プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>(Pコード:290-541)
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/sys/main.jsp>
ティアラこうとうチケットサービス 03-5624-3333

※江東区民割引は東京シティ・フィルとティアラこうとうのみでお取り扱い。
U20、U30は東京シティ・フィルのみでお取り扱い。

会場アクセス

ティアラこうとう(江東公会堂) 大ホール

〒135-0002 東京都江東区住吉2丁目28-36 TEL.03-3635-5500

- 地下鉄: 都営地下鉄新宿線 東京メトロ半蔵門線「住吉」駅A4出口・・・徒歩4分
- 都営バス: 【東22】 錦糸町駅→東陽町(東京駅丸の内口)
「住吉駅前」下車・・・徒歩5分
【錦11】 錦糸町駅→築地駅「住吉駅前」下車・・・徒歩5分
【錦28】 錦糸町駅→東大島駅「江東公会堂前」下車・・・徒歩1分
- 駐車場: 地下駐車場(有料80台収容)



※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。
※一度お求めになったチケットは公演中止の場合以外、一切キャンセルはできませんので、ご了承ください。また、チケットの再発行いたしませんのでご注意ください。

今回の定期演奏会《第83回ティアラこうとう定期演奏会》

2025 **9.13** 日 午後3時開演
ティアラこうとう(江東公会堂) 大ホール

指揮: 藤岡 幸夫(首席客演指揮者) ヴァイオリン: 木嶋 真優

芥川也寸志: 交響管弦楽のための音楽/林さよか: ヴァイオリン協奏曲「Starburst」

チャイコフスキー: 交響曲第5番 小短調 作品64